



ちがさき丸ごと博物館



(愛称は「ちがさき丸ごと博物館」)

初詣特集

今年は辰年。市内の菱沼八王子神社、小和田熊野神社、赤羽根神明大神社、芹沢腰掛神社など多くの神社の本堂の欄間には龍が彫られている。

龍は雨を呼ぶ象徴、古から大地を豊かにうるおす水を願う庶民の信仰がうかがわれる。

みなさん、社寺に詣でられた際には龍を刻んだ欄間、手水石にこめられた様々な願いなどを発見しましょう。



えぼし岩のアオサ田んぼ 写真提供 木村清一郎氏



菱沼八王子神社の欄間



室田八王子神社の手水石
山岡鉄舟書による龍の刻銘



赤羽根神明大神社の手水石 龍を象った水口



芹沢腰掛神社の欄間

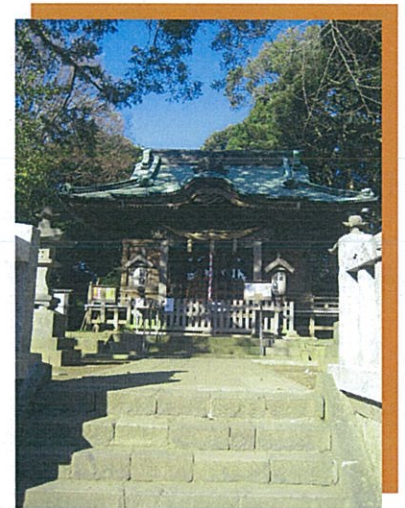
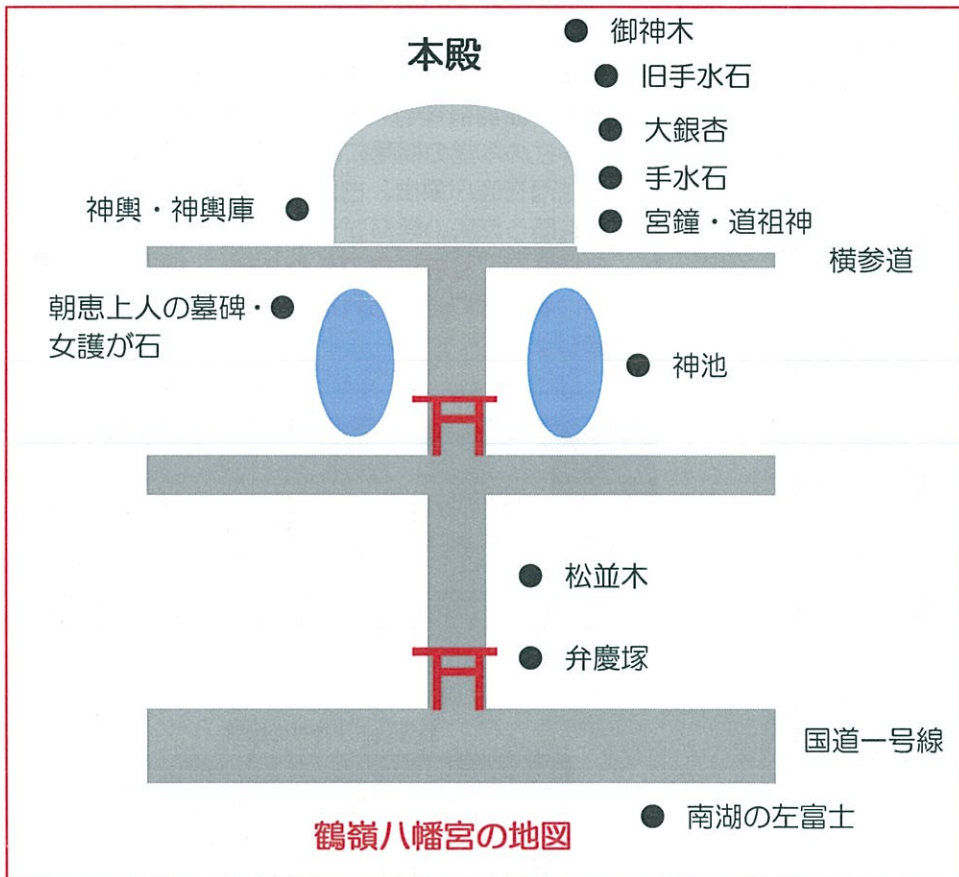


小和田熊野神社の手水石

新春歴史ツアーのお誘い

初詣でにぎわう鶴嶺八幡宮と周辺の歴史をご案内します。

行き先	: 鶴嶺八幡宮
日時	: 2012年1月21日(土) 午前10時~12時
集合場所・時間	: 茅ヶ崎駅改札口出口・午前9時45分
申込み先	: 市役所 社会教育課(内線: 3342)
申込み期限	: 1月18日(水)
定員	: 先着20名様



鶴嶺八幡宮の本殿

鶴嶺八幡宮の歴史 鶴嶺八幡宮は源頼朝から五代前の源頼義が平忠常の乱を平定した折りに、このあたりの懐島郷を通り、風光明媚な小丘に源氏の守り神である京都の石清水八幡宮を勧請したのに始まり、頼義の長子八幡太郎義家(1039年~1106年)が、父の応援に奥州へ向かう途中、そこに詣で、戦勝祈願して現在地に遷座したとも言われています。義家は境内に銀杏の木を手植えして勝利を祈りました。その銀杏と伝えられるものが神奈川県天然記念物に指定されている大銀杏(オオイチョウ)で、樹齢950年と推定され、今では樹高29m、周囲9mの大木となり、この神社や地域の象徴となっています。地元では鎌倉の鶴岡八幡宮の本社だとも言われています。



鶴嶺八幡宮の大銀杏

鶴嶺八幡宮参道の歴史

国道一号線の大鳥居から続く参道は764m

(420間)あり、両側に松並木がありますが、江戸時代の初頭(1600年代)別当寺の常光院の僧朝恵(ちょうけい)が荒廃した神社の復興をなした際に記念として植えたものです。

鎌倉の鶴岡八幡宮の参道のように、鶴嶺八幡宮も(当時の)海岸近くまで参道が続いていた可能性もあります。当時の地理や地域の歴史を偲びながら、県内有数の景観が残る松並木の参道をゆっくり歩いて参詣してみませんか。



整備を終えた部分の参道

鶴嶺八幡宮参道の整備 進行中!

この参道は現在整備工事が

行われています。かねてより周辺の人々を悩ませてきた雨水被害を解消するため、神社と地元と市が長期にわたり協議を重ね、あわせて下水道整備をはじめ、歩道のある明るい参道に生まれ変わりつつあります。残る南半分も工事中で、松並木の景観保持の工事を含めて平成24年度の完了が見込まれています。



鶴嶺八幡宮参道整備事業の揭示板

初詣の始まり

毎年、元旦に神社にお参りする「初詣」を始めた

のは鎌倉幕府を開いた源頼朝だと言われています。幕府成立前の治承5年(1181年)正月朔日(ついたち)に鎌倉の鶴岡若宮に参詣したのが始まりであるといわれています。(「日本の歴史 第5 躍動する中世」より)



鎌倉市源氏山公園の頼朝像

庶民の初詣は恵方(えほう)参りが始まりと云う

江戸時代の正月、庶民は恵方参りをしていたようです。恵方とは、その年の幸せを運ぶ歳神様やってくる方角で、自宅から見てその年の恵方にあたる神社や寺に参詣することを恵方参りと呼び、江戸時代の庶民の間で流行しました。すべての年に大吉であり何事につけ繁昌する「吉方」とも言われます。明治時代になると、恵方にこだわらず、正月に有名な社寺にお参りをする現在の形が一般化し、初詣と言われるようになりました。今年の恵方は北北西です。

みんなに聞いた初詣の作法

- ① 鳥居の前では衣服を整え、お辞儀をして境内に入ります。
- ② 手水舎で手、口を清めます。
- ③ 鈴を鳴らし、二礼、二拍手、一礼します。
- ④ 住所と名前、心を込めて感謝とお願いをします。

みんなに聞いた初詣のご利益

- ① 自分の気が上がる。運氣、チャンスを感じる。
- ② 感覚が冴えてくる。第六感が働く。
- ③ 不思議な幸運が飛びこんできた。
などがありました。

ちがさき丸ごと発見博物館の会 今年度の主な活動（実績と計画）

イベント名（実施日：依頼先・協働）	概要	対象
講演会「世界を翔けた女 川上貞奴、隠し部屋と音二郎」（9/3）	川上音二郎・貞奴の生涯をたどる講演会	一般（72名）
茅ヶ崎市美術館「川上音二郎・貞奴展」の説明員支援（9/10～11/27）	美術館からの依頼	一般（老人会、小学生200名他）
公共施設見学ガイド支援（8/26他3回：市秘書広報課）	下水道柳島管理センター、資源物選別所、清掃事業所などコースをめぐるガイド	市内自治会
湘南富山県人会ガイドツアー（10/16）	円蔵神明大神宮～鶴嶺八幡宮～旧相模川橋脚コースのガイド	湘南富山県人会（15名）
「エコツーリズム講座」（11/12：香川公民館・文教大）	堤貝塚～七堂伽藍跡～伊右衛門農園コースのガイド支援	一般（40名）
大山街道プロジェクト プレウォーキング（11/20）	平成24年3月開催予定大山街道ウォーキングの確認ウォーキング	茅ヶ崎市観光協会、文教大生
ちがさき丸ごと発見博物館季刊誌（4回）	市内の都市資源を紹介する年間4回発行の季刊誌	一般
鶴嶺ガイドマップ作成	鶴嶺八幡宮周辺の史跡ガイドマップを一般向けに配布	一般
案内板・説明板制作と設置（茅ヶ崎中央ロータリークラブ）	制作5箇所	
新春歴史ツアー（1/21）	鶴嶺八幡宮を初詣するツアー	一般
初詣ツアー（1/28：寒川公民館）	小出七福神巡り	一般
えぼし岩周遊船（2/4：茅ヶ崎市観光協会）	茅ヶ崎港からえぼし岩を回る40分の周遊コースのガイド支援	一般（定員600名）
ふるさと再発見「湘南めぐり」（2/18：湘南地区観光振興協議会）	開高健記念館～えぼし岩周遊船～サザンの商店街立ち寄りコースのガイド支援	一般（定員 80名）

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館って何？

茅ヶ崎市の全域を屋根も壁もない博物館と見立てて、文化、歴史、自然、産業、商業、公共施設、人材など、このまちらしさをもついろいろな事柄を幅広く選び出し、これらを都市資源と呼ぶことにしました。これらの都市資源を調査・研究し、それぞれがもっている意味や魅力を広く市民に周知する一方、それぞれを関連付けて散策や各種イベントなどで活用を図ることにより、本市を改めて知り、本市を愛する心を育み、ひいてはまち全体の活性化を図ろうとするものです。そして、都市資源は地域のかげがえのない宝物として、地域により保護され育てられていくこととなります。住民が、自分たちの地域の未来のために、自分たちの考えと力で運営していく姿勢を特に重要視しています。

編集後記

今回の10号は新年を迎えるにあたり初詣を取り上げました。写真を撮りにいくつかの神社を回ると、龍にまつわる彫り物が多くありました。ちょうど辰年にあたるのでこれにもスポットを当ててみました。また、手水石（ちょうすいし）に刻まれた文字や模様には神社の個性が様々あり、それぞれに込められた意味など興味深いものがありました。ある神社では「がん封じ」の石が最近設置されたとのことでした。神社は、地元の人々の努力で維持され、古いものだけでなく、今も新しく信仰の対象が生まれていることを発見しました。10号の編集責任者は増田知子さんです。（川合重貞記）